



令和7年度 夏休みインターンシップ

令和7年の夏は、前年に続き記録的な猛暑で、熱中症で体調を崩す利用者も多く、訪問看護師は、利用者の生活環境にも気を配りながらきめ細やかな看護を行いました。



今年の夏休みは、7校15名の学生が11事業所でインターンシップを行いました。学生の受け入れをしてくださったステーションの皆さん、ありがとうございました。

インターンシップ実施施設と体験者数

YMCA 訪問看護ステーション・ピース	1人
訪問看護ステーションレジハピ	3人
あいりハ訪問看護広島南	1人
広島県看護協会訪問看護ステーション「ひろしま」	1人
広島県看護協会訪問看護ステーション「ひびき」	1人
悠悠タウン江波訪問看護ステーション	1人
安芸地区医師会熊野町訪問看護ステーション	1人
看護小規模多機能居宅介護きさか	1人
訪問看護ステーションあすなろ	1人
訪問看護ステーションそれいゆ	2人
可部訪問看護ステーションなづな	2人



参加した学生の在籍校と人数

県立広島大学	1人
広島大学	6人
安田女子大学	1人
日本赤十字広島看護大学	2人
広島都市学園大学	2人
広島市立看護専門学校	2人
広島県立広島皆実高等学校衛生看護科	1人

訪問看護ステーション・ピースでの様子



朝のミーティングに参加

午前中 2 件、午後から
小児の同行訪問 1 件。

100 才を超える利用者の
“持てる力”にびっくり！



バイタルサイン・軟膏塗布の実施



学生の感想

利用者さん一人ひとりに自立度や生活背景、家族の支援体制を踏まえた個別性のある看護が提供されていたことが印象に残りました。

また、看護師だけでなく、ヘルパーとの連携も在宅看護の上で重要であると学びました。将来訪問看護への就職を考えており、今回の経験は目標に向かう上でとても貴重な学びとなりました。

今回の学びを今後の学習や実習、将来の看護に生かしていきたいです。

参加した学生の皆さん、実施施設の訪問看護ステーションの皆さん、
ありがとうございました。

